

緊急事態宣言における

福祉支援について

日本共産党

高田 浩子

問 (1)新型コロナウイルス感染症の福祉施設ガイドラインについて、(2)子どもの見守り強化アクションプランについて、(3)子どもの安全支援について伺います。

答 (1)公立施設は、対策本部で協議した対応策に即し、社会福祉法人等は、国のガイドライン等に基づき対応しています。

(2)要保護児童対策地域協議会で、訪問や電話等により虐待の有無を確認しました。

(3)令和2年4月に体罰行為等の禁止が法制化され、個別対応や地域ネットワーク、児童相談所と連携し対応を図っています。

農業振興対策について

問 (1)食料・農業・農村基本法の基本計画について、(2)農業労働者不足について、(3)新型コロナウイルス感染症に係る助成金・補助金制度について伺います。

答 (1)基本計画は、食料・農業・

農村に関し、政府が中長期的に方針を定め、砂川市は、計画を踏まえた農業振興を推進しています。

(2)近年は、慢性的に人手不足の状況で、今後も農協、普及センター等と対策を検討していきます。

(3)持続化給付金・経営継続補助金・国産農林水産物等販売促進緊急対策事業・農林業セーフティネット資金・経営体育成強化資金・農林業施設資金・農業経営負担軽減支援資金・野菜価格安定対策事業・高収益次期作支援交付金などがあり、農協を通じて速やかに周知し、検討も進めています。



新型コロナウイルス

感染症の対策等について

公明党

辻 勲

問 砂川市立病院、学校生活、また、防災における新型コロナウイルス感染症の今後の対応と防止対策について伺います。

答 市立病院の来院者発熱トリアージについては、院内感染の防止及び職員の不安解消を目的に、入口を正面玄関1カ所に集約して、体温測定用のテントを配置し、全ての来院者1日約1千人を対象に実施しています。検温及び問診による発熱、息苦しさ等を訴える患者をトリアージし、発熱等のある方は、一般患者と動線を分けて案内しており、トリアージされる患者数は1日平均8人程度です。

学校の登校等において、手指消毒は接触感染を防ぐため、外から入るときやトイレの後、給食の前後などに、こまめに手を洗うことが重要とされています。児童生徒同士の間隔については、集団感染のリスクを低減するため、間隔は1メートルを空けることが推奨されていますが、それが確保できな

い場合、換気を十分に行うことやマスクを着用することなどを併せて行い、3つの密を避けることとされています。市内小中学校は、6月1日からの学校再開にあたり、これらの衛生管理マニュアルに基づき、児童生徒及び教職員の感染リスクを可能な限り低減する対応を徹底しています。

災害時の感染症対策については、北海道より市町村向け避難所運営マニュアルの改正版が示され、市では新型コロナウイルスを含む感染症対策に加え、避難所運営マニュアルの改正作業を進めています。

学校の登校等において、手指消毒は接触感染を防ぐため、外から入るときやトイレの後、給食の前後などに、こまめに手を洗うことが重要とされています。児童生徒同士の間隔については、集団感染のリスクを低減するため、間隔は1メートルを空けることが推奨されていますが、それが確保できな



咳やくしゃみなどによる飛沫感染が主な感染経路

お悔み窓口の 設置について

創生会
多比良和伸

問 人ひとり亡くなると行政への届け出や、各種保険、銀行など様々な機関へ手続きをしなくてはなりません。

そこで、市民の負担を軽減するため、お悔み窓口の設置を考えたらいかがいと思います。

答 お悔み窓口の設置については、高齢化や核家族化等のなか、手続きをワンストップでサポートすることで、不安や負担の解消が図られます。設置にあたっては人員やスペース、業務分担等の課題がありますが、来庁された方の負担が少しでも軽減され安心して手続きが行える窓口になるよう、設置に向けて検討します。

児童・生徒世帯への IT環境整備について

問 コロナ禍のなかで、学習期間が削られ、全国的には一部でリモート学習が行われましたが、砂川市では各家庭の環境整備が整っていないため行われませんでした。

今後、これ以上の遅れを生じさせないよう、リモート学習を視野に入れ、環境整備を推し進める考えがないか伺います。

答 オンライン教育に向け、インターネット環境についてアンケート調査を実施したところ、リモート学習ができる環境にない家庭もあつたことから、この結果を踏まえ、必要な機器の整備を進め、効果的な実施となるよう、学校と協議しながら検討していきます。



先進自治体の窓口

ほかに、「砂川市LINEの積極的な活用について」質問しました。

公立高等学校 配置計画案について

市民の声
小黒 弘

問 北海道教育委員会は令和3年度から5年度までの公立高等学校配置計画案を公表しました。砂川高校は1学年3学級の定員が2年連続で1学級減となり、単位制の維持にも厳しい状況です。

3月定例会以降、3学級を守るための動きについて伺います。

答 配置計画作成に対する意見書として、砂川高校の3間口確保の要望を道教委に提出しました。

問 計画案によると、来年度から滝川高校は単位制を導入すると示されていますが、以前から分かっていたのか伺います。

答 事前通知はなく、6月2日付けの公立高等学校配置計画案をもつて確認しました。

問 道教委は9月に配置計画を決定しますが、3学級を維持するための今後の戦略について伺います。

答 道教委への要望について、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでしたが、7月を目途に書面をもって直接要

望したいと考えています。

コロナ禍における 市立病院への影響について

問 市立病院は感染症指定病院でもあり、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な収益減が出ています。国の損失補填が必要ですが、国からの情報について伺います。

答 国の第2次補正予算には病院の減収分を直接補填する予算は盛り込まれていません。

今後は、全国自治体病院協議会など関係団体を通じて国に求めていきたいと考えています。



市立病院発熱トリアージ